

五戸総合病院での研修を終えて

順天堂大学医学部附属浦安病院 研修医
久保誠

私は 2022 年 7 月に五戸総合病院にて地域医療研修をさせていただきました。新型コロナウイルスがいまだ猛威を振るう中、一ヶ月の間受け入れていただき深く感謝申し上げます。私は今回外科で研修をさせていただきました。まず初めに驚いたのが取り扱う疾患の種類の多さです。胆嚢炎や腸閉塞、鼠径ヘルニアはもちろん、乳癌や膀胱癌などの悪性腫瘍、また褥瘡や陥入爪、下肢静脈瘤のような common disease も全て診療する外科の体制に驚きました。大学病院では診療科が細分化されそれぞれの疾患の specialist がいますが、五戸総合病院の外科は幅広い疾患に対応しており、レベルの高い医療を見させていただきました。今回、全ての手術の術野に入らせていただきました。腹腔鏡手術ではカメラを持たせていただき、縫合や結紮も経験させていただきました。CV ポート造設術や粉瘤摘出術では執刀医として参加させていただき、非常に良い経験になりました。

外科での研修でしたが、手術以外にも病棟管理や訪問診療にも携わることができました。病棟では褥瘡患者や術後の患者のケアの方法などを学びました。特に壊死性筋膜炎に対するデブリードマンは大変貴重な経験となりました。訪問診療では地域医療のリアルな姿を肌で感じる事ができました。さらに警察署での死体検案など、普段の研修医生活では経験できない現場にも立ち会わせていただき、非常に有益な時間を過ごすことができました。

また青森は自然と文化に恵まれた美しい土地でもありました。休日には奥入瀬溪流や十和田湖、蕪島、恐山などに行くことができましたが、いずれも記憶に一生残るような風光明媚な土地でした。また五戸の馬肉は絶品で、いずれまた五戸にお邪魔させていただきたいと思っています。

他にもイレウス管や CV カテーテル挿入、胃瘻交換など経験させていただいたことは数え切れません。指導医の安藤先生と後村先生にはお礼の申し上げようもございません。また今回の研修をあらゆる面からサポートしてくださった管理班の越後様にも心よりお礼申し上げます。一ヶ月間誠にありがとうございました。